

授業科目名: バレーボール	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 1単位	担当教員名: 渋谷聡・山田美絵子・竹川智樹
			担当形態: クラス分け・単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・体育実技		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)バレーボールに必要な基礎技術(パス、スパイク、サーブ)を、ICTなどを用いて修得する。 (2)バレーボールで「主体的、対話的で深い学び」を修得する。 (3)バレーボールの動きを分解して、つまずきからの手立てを修得する。			
授業の概要			
本授業では、バレーボールのパス、スパイク、サーブの基本動作を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICTやグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づく、わかる」ことを促す。合わせて、これらが主体的で対話的な深い学びにつながり、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現する」ことを理解させる。			
授業計画			
第1回:バレーボールの魅力や特性を理解する 第2回:パスの基礎技術(1)オーバーハンドパス技術を身につける 第3回:パスの基礎技術(2)アンダーハンドパス技術を身につける 第4回:パスの基礎技術(3)フォーム改善点の確認(ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第5回:スパイクの基礎技術(1)スパイク技術を身につける 第6回:スパイクの基礎技術(2)フォーム改善点の確認(ICT活用、グループディスカッション実施) 第7回:サーブの基礎技術(1)サーブ技術を身につける 第8回:サーブの基礎技術(2)フォーム改善点の確認(ICTの活用、グループディスカッション実施) 第9回:戦術(1)フォーメーションを理解する 第10回:戦術(2)レセプションからの攻撃を身につける 第11回:戦術(3)実戦での三段攻撃を身につける 第12回:実践演習(1)実戦でのコミュニケーション(声かけなど)を身につける(グループディスカッションの実施) 第13回:実戦演習(2)実戦でのルールおよび審判法、指導法を身につける 第14回:実戦演習(3)チーム別課題練習(ICTの活用、グループディスカッションの実施) 第15回:授業のまとめ 実技試験			
スクーリングでの学修			
ICTを活用してバレーボールの技術向上を図るとともに、指導に必要な学び(主体的、対話的で深い学び)をグループディスカッションなどで実践していく。第1回～第15回の内容を包括的に行う。			
テキスト			
薦宗浩二(2015)「みるみる上達!バレーボール 基礎からマスター」学研出版 978-4058004326			
参考書・参考資料等			
阿部利彦編(2015)「気になる子の体育つまずき解決BOOK授業で生かせる実践52」学研教育みらい 978-4054062955 阿部利彦編(2017)「気になる子も一緒に体育で始める学級づくり ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援プラン109」学研教育みらい 978-4058008157			
学生に対する評価			
スクーリング評価(20%)、科目修得試験(80%)			